



発行所
大阪府農業会議

大阪府中央区農人橋 2-1-33
JAバンク大阪信連事務センター3階
電話 直通 06(6941)2701~2
http://www.agri-osaka.or.jp
発行人 中谷 清

年金の
お受け取りは
JAで

JAバンク大阪(JA/信連)

JAバンク大阪へ 検索

主な記事

◎講演要旨・地域計画の実現に向けて 農業委員会に期待
全国農業会議所
専務理事 稲垣 照哉氏(2面)
◎農水省 農村研修
都市近郊農業の現場を経験
富田林市ナカスシファーム
農水省2年目大橋春哉さん(4面)

綱紀保持の徹底と 府内組織運動の推進を呼び掛け

農委会長・事務局長等合同会議

農業会議は、8月26日に大阪市内・シティプラザ大阪で農業委員会会長・事務局長等合同会議を開き、各市町村農業委員会・事務局長等77人が出席した。

冒頭、中谷会長は、5月に府内で発覚した農地転用許可手続きにおける不適正事案に対し、大阪府が農業委員会等の綱紀の保持について文書を発出したことを受け「改めて農業委員会組織が担っている職務の重要性を認識し、法令を遵守し公正かつ適正な職務の遂行に努めなければならない」と強調し、綱紀保持の徹底を呼び掛けた。

その後、大阪府環境農林水産部農政室整備課の田中好輝課長から発出文書の説明として「農地関係事務への対応が複雑化している。転用の手続き等では新制度を理解した上で、申請者へ周知を図っていただきたい」と言

及。また「この機に事務体制の再点検・整備強化へ取り組んでほしい」と呼びかけた。

続いて、農業会議の藤岡参事兼農政課長が、今年度から取り組む「農地を活かし、持続可能な大阪農業を創る運動」を説明。農地利用の最適化の推進の基礎となる人と農地の現状把握、話し合い活動等による地域計画の実現への取り組み、都市農地関連法制度を活用・促進するための周知・啓発、地域農業の課題解決を図るための市町村長への意見提出の実施、農地法の適正執行及び啓発活動等を依頼した。その他、地域計画の実現に向けて農地の貸借を円滑に進めるため、府事業を受託し、府内10

万博内で大阪版カーボンフットプリント(CFP)を表示

8月4日(月)、万博会場内の大阪ヘルスケアパビリオンリボンステージ・広場ブースにおいて、「大阪産(もん)を食べて元気になろう!」(大阪産(もん)の)

おいしい食べ方・楽しみ方」が開催された。(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所による、大阪オリジナルぶどう「虹の雫」のPRブースでは、大阪版C



市町村で農委と連携しながら詳細な農地の貸付条件等を聞き取り、それらを農地カルテとして作成する取り組みを報告。さらに、女性委員の登用促進について、農業会議は事業計画に基づき女性委員への研修・交流会の充実を図っており、これからの研修会等の周知・参加の呼びかけを依頼し、今後は組織

化も視野に入れ取り組んでいく旨を報告。農業者年金の加入推進、全国農業新聞の普及推進についても協力を呼び掛けた。また、全国農業会議所の稲垣照哉専務理事が「地域計画の実現・ブラッシュアップに向けて農業委員会に期待すること」をテーマに講演した。(2面に講演要旨) (藤岡)

FPも表示し、地産地消が脱炭素につながることを発信した。(3面に関連)

風速計

令和の時代に入って7年にして既に5人目の宰相が誕生しようとしている。その是非はともかく、少なくとも政策協議に空白が生じることは否めない。令和の米騒動が叫ばれる中、令和9年産からの米政策見直しは確定したもの、政策議論は深まっていけない◆今回の騒動で平成5年の米騒動を思い出す。夏の大冷害で戦後最悪の大凶作となり、当時、少数連立政権だった細川政権は、外国産米の緊急輸入に踏み切った。おりしもこの年、ガット農業交渉が大詰めを迎え、米市場の部分解放(ミニマムアクセス米の受け入れ)に至った◆この平成の米騒動を教訓に備蓄米が増量されたほか、先の日米関税交渉では米国产米輸入をめぐりミニマムアクセスが話題になった◆歴史は繰り返すというが、今回も類似した出来事が繰り返されているように思えてならない。(北川)